

第84回例会 コープシアター

http://www.palcoop.or.jp/au_tori/au_tori_cinema.html

戦後2年目の東京神田、愛敬稲荷神社が物語の舞台。登場人物は、神社の神主牛木公磨と、公磨が焼け跡で営むお面工場で働く五人の戦争未亡人。毎日の暮らしは、神社の白絹の壁代と交換で仕入れた闇米で何とか食い繋いでいる状況。焼野原で、残された人々が肩を寄せ合い細々と暮らす日々の中、三年前に戦死したはずの公磨の一人息子健太郎が記憶喪失で帰ってくる。しかし喜びもつかの間、記憶を取り戻した健太郎にC級戦犯の容疑がかけられる……。

井上ひさしの『昭和庶民伝三部作』の一つ。戦争への怒り、その重いテーマをユーモアを交えながら描いた傑作。帰還兵のギター弾きが奏でる音色が切なく心に響きます。

あらすじ

「闇に咲く花」-愛敬稲荷神社物語-

大阪放送劇団 10月22・23日 ドーンセンター



コープシアター 新会員募集中

大阪 // あなたも // ごいっしょに
 パルコプの組合員さんと、その家族なら誰でも入会できる積立式の鑑賞会です。年3~4回の例会があり、さまざまなジャンルの舞台を生で楽しめます。

●入会金2,000円 月会費1,050円

会費は毎月生協の登録口座から引き落とし
 ※基本は3人以上のグループ加入ですが、1人からでも加入できます。

●問い合わせ 組合員活動部

☎06-6242-0904 FAX06-6242-0926

これからの例会のお知らせ

第85回例会 「三浦一馬with京フィル
 ニューイヤー・コンサート」
 2回公演 2016年1月18日(月)
 会場：いづみホール

今回は観劇いただいた参加者のアンケート 179枚の中から一部をご紹介します

- 戦後の日本は大変だったんだろうなと思いました。今日見させていただいたのは日本のほんの一部分の世界だと思います。今の平和がありがたい。ずっと平和でいたいです。
- 戦後生まれだけれど、祖父母や海軍へ志願した父より色々子ども頃に聞いた苦しい辛い生活を思い出しました。精神的に人間を追い詰める戦争、終戦しても尚、心に残る心の傷、そんなことのないよう日本の進むべきをチラッと考えていたら、最後のボールのところグッときました。
- 生で芝居を見る事がないのでとても迫力があってよかったです。さすが井上ひさしさんは楽しくてピリッと辛口ですね。



NO.72

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

岩手県が2011年度から行なっている「被災地福祉灯油」は、今年度も継続することが県議会で決まりました。沿岸市町村が低所得者世帯などへ灯油購入費の助成を行う場合に、県が費用の一部を支援する制度です。継続を求めている「岩手県生協連合会」などの請願を受けたものです。

また同連合会は、今年度3回目の灯油委員会を開き、来春までの灯油暫定価格を決定し、11月下旬に公表しました。東北では生協の灯油価格は、生協に限らず地域小売の価格決定に影響を持っており、市況の値上がりを抑えるとともに、小売業者の経営にも配慮した暫定配達価格(1,260円/18ℓ。推移を見て、来春に還元等される)としているそうです。

生活に欠かせない、とりわけ寒冷地では灯油は必需品であることを実感しつつ、今から40年ほど前の「灯油裁判」(*参照)のことを思い出しました。被災地で自助努力と共助(助け合い)だけでは解決しない、庶民の暮らしを支える制度や仕組みの改善につなげる運動を「灯油裁判」の経験から学ばねば…と思う師走です。

*「灯油裁判」…第2次オイルショック(1973年)時に、街中からトイレットロールや砂糖などが店頭からなくなる物不足・物価高騰を経験し、私自身も生協に入協した時に学んだ「生協の歩み-灯油裁判」(石油元売のカルテルによる不当な値上げが明らかになり、主婦連や神奈川・山形の生協組合員が損害賠償を求めた訴訟)のこと

(岩手県遠野市に常駐する
 パルコプボランティア事務局・林さんより)



ご協力ありがとうございます

東北支援募金の状況(2015年3月21日~2015年11月20日)
 17,918,498円 (この金額には2014年度繰越金・注文書での募金・店舗などに設置の募金箱・ずっとボラの会での物販などを含みます)

※ ボランティア活動報告はホームページにも掲載しています。http://www.yodogawa.coop/info/info/shinsai

被災地へ「クリスマスカード」を贈りました

いわて生協さんからの呼びかけにこたえ、各地域の組合員活動委員さんが「忘れない。これからもいっしょにがんばろう」の思いを届けるために、今年は「クリスマスカード」を贈りました(昨年は「ひなまつりカード」をパルコプから約200枚送付)。

「いわて生協さんより」

この度は、ご協力誠にありがとうございます。カードには組合員ボランティアがクッキーを付けて袋詰めし、共同購入を通じてお届けしています。「うれしいです。ありがとうございます」[全国の生協から届くんですね。遠くの生協だと連絡先も分からないから、御礼を言ってちょうだいね]などのお声をいただきました。



※今年贈ったカードの一部です

寝屋川打上地域活動委員会が11月19日に開催した「試食会」では、参加者にも呼びかけてカード作りを行な



ったそうです。「被災地の方が楽しい気分になればいいな」「元気になってもらえるように願っています」などの想いを聞くこともできました。

ずっとボラの会(東北応援バス参加者の有志の会)よりお知らせ

<今後の予定> ぜひ、お立ち寄りくださいね。

| 日程 | 会場 | 時間は |
|---------------|-------|------------|
| 2016年1月10日(日) | 東中浜店 | 10時~15時です。 |
| 2016年2月7日(日) | 西くずは店 | |

パルコプの店舗一覧はこちら。
<http://www.palcoop.or.jp/shopping/shop/index.html>

パル子のお店新発見

おおさかパルコプには9つのお店があります。今回は組合員さんに粉浜店に寄せる思いをお聞きしました。

大阪市内南エリアに、「ぜひお店が欲しい」と願い十数年。やっと叶いました。ぱるタイムなどを見て、店舗では新鮮な魚や野菜・できたての惣菜など、いつでも購入できるのをうらやましく思っていました。いよいよ私達も店舗のある組合員活動に参加できます。オープン以来、買ってはまわりの人々に宣伝しています。店が組合員活動にも中心的役割りを長く続く事を願っています。

住吉地域活動委員会 委員長 坂東さん

大阪南部に、待望のお店「粉浜店」が誕生しました。オープンの日、大勢の人が来店行列をつくっているのを見て、これも待ち望んだ結果だと思いました。新鮮な商品を手にとって見て買える喜びを感じています。期待に沿った生協らしいお店、そして、愛されるお店にと願っています。ずっと応援していきたいと思っています。

住之江地域活動委員会 委員長 岩田さん



地下鉄四つ橋線「玉出駅」3番出口から徒歩3分
 〒559-0001 大阪市住之江区粉浜1-1-32
 キリンドプラザ第5号1階
 ☎06-6676-5160
 営業時間 AM9:00~PM10:00
 駐車場はありません

台風18号大雨被害緊急募金へのご協力ありがとうございました パルコプ組合員さんからお預かりした募金をお渡ししました

9月10日に関東・東北を襲った台風18号による大雨被害では各地に大きな被害をもたらしました。パルコプでとりくんだ「緊急募金」をお渡するため、特に被害の大きかった茨城県常総市に11月30日にかがいました。

茨城県生活協同組合連合会・事務局長・鈴木さんの案内で、常総市役所を訪問、高杉徹市長に募金500万円の目録を贈呈しました。市長から「おおさかパルコプの組合の皆さん、たくさんの義援金をいただきまして、ありがとうございました」とメッセージをいただき、災害の被害の状況をお聞きしました。常総市では義援金として市民に直接支給するために活用されます。



(左)高杉徹 常総市市長 (右)パルコプ・石井理事



濁流に流された家屋が横向きに倒れたままになっていました

・人口2万人の常総市の約半分の方が今回の災害で被災。市のレベルでは、復興できる内容ではない。国や県と連携して復興させていきたい。
 ・現在も200名が避難所に。避難されていないところでも、家屋の1階に台所があるため、生活の復旧が進んでいない。いまだに炊き出しが行われている。大工さんが不足し工事が進まないのが実態。生活復興が優先で、産業の復興はその次になる。
 ・床上浸水が4000戸を超えて、いまだに半分の家屋が復旧されていない。

台風18号大雨被害募金で集まった総額約800万円は被害状況にあわせて各行政に送金します。

- ・茨城県生協連通じて500万円を常総市へ
- ・栃木県へ200万円
- ・宮城県へ約100万円